

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ケーステンク松井山手店	階数	地上1F
建設地	京都府京田辺市山手中央4-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月	評価の実施日	2013年3月4日
敷地面積	11,998 m <sup>2</sup>	作成者	末原 俊七
建築面積	5,599 m <sup>2</sup>	確認日	2013年3月4日
延床面積	5,573 m <sup>2</sup>	確認者	末原 俊七

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★ B<sup>-</sup>: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 79%  
③上記+②以外のオンサイト手法: 79%  
④上記+オフサイト手法: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 3.0**

Q1 室内環境 (Q1のスコア = 3.0)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア = 3.3)	Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア = 3.0)
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.0	機能性: 3.5, 耐用性・信頼性: 3.0, 対応性・更新性: 3.2	生物環境: 3.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 3.0

**LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3**

LR1 エネルギー (LR1のスコア = 3.6)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア = 3.0)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア = 3.3)
建物の熱負荷: 3.3, 自然エネルギー: 3.5, 設備システム効率化: 4.5, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.0, 非再生材料の使用削減: 3.0, 汚染物質回避: 3.2	地球温暖化への配慮: 3.8, 地域環境への配慮: 3.1, 周辺環境への配慮: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
・物販店舗のため、常に来客者が比較的、短時間に入れ替わるため、空調の設定を低減しています。また、バックヤードの照明については、人感センサースイッチタイマーを多用し、省エネルギーに努めています。	0
<b>Q1 室内環境</b> ・建築計画において、断熱材を有効に活用し、空調調設備の計算負荷を低減しています。	<b>Q2 サービス性能</b> 全て、バリアフリー対応となっている。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・室外機等の建築設備機器は、出来る限り目立たない場所等で計画しています。また、建築物・駐車場以外の空地部分を緑化し、地熱の反射の低減に努めています。	<b>Q3 室外環境 (敷地外)</b> ・廃棄物の分別、再利用に努めています。また、騒音を出さないよう、室外機等の配置に配慮しています。
<b>LR1 エネルギー</b> ・空調機・照明器具とも、省エネルギータイマーを使用するよう努めています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・出来る限り、有害物質を含む建材を使用しないよう努めています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい